

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年3月13日

【評価実施概要】

事業所番号	1070400948
法人名	ケア サプライシステム株式会社
事業所名	グループホーム のいちご
所在地	群馬県伊勢崎市連取町2344-7 (電話) 0270-50-7281

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど
所在地	群馬県前橋市大友町2-29-5
訪問調査日	

【情報提供票より】(20年2月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14 年 3 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 5人 非常勤 4人 常勤換算 7.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建て 造り 1階建ての 階 ~ 1階部分
------	-----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	光熱費15,000円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	60 円
	または1日当たり 860 円			

(4) 利用者の概要 (2月20日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1		名	要介護2	5	名
要介護3	4	名	要介護4		名
要介護5		名	要支援2		名
年齢	平均 88歳	最低	76歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	大井戸診療所・連取歯科クリニック・訪問看護ステーションきらくな家
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは住宅地の中で静かな環境に設置されており、敷地内に家庭菜園がある、季節の野菜を育てて食卓に一品添えられる。敷地の隣には地域の方の畑がある、近くにはスーパーなどがあり生活感や季節感がある。利用者と職員は掃除や家庭菜園で野菜を育てる、調理の下ごしらえ、盛り付け、片付け等の場面で楽しみながら力を発揮してもらっている。利用者一人ひとりの生活リズムを大切に家庭的な雰囲気の中で自由にのんびりと過ごせるよう支援している。食事は利用者にとって楽しみである。食材も多く取り入れ季節感や栄養バランスに配慮し美味しく食べられるように工夫している。地域との交流は利用者と職員が機会あるごとに積極的に出向き交流を図る取り組みをしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>日中、玄関の鍵をかけないことについて、運営推進会議で参加者と事業所側と協議を行い、利用者の安全確保のために鍵をかける結論となる。栄養摂取や水分確保の支援で食欲、水分量の少ない利用者だけの記録を行い職員が共有していることは継続しているが、利用者一人ひとりの日々の記録はされていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全職員で意見交換を行い自己評価に取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>事業所から状況報告を行い参加者から情報や質問、意見、要望を受けている。外部評価の結果で鍵について話し合い意見交換を行っており、参加者からの意見で安全確保する上で玄関に鍵をかける結論になっている。健康長寿食について講話や災害対策で地域の方へ協力依頼などもしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホーム便り年4回発行、訪問時に日頃の暮らしぶり、状態の変化に応じて随時報告をしている。金銭管理についても定期的に報告がされている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホーム便り年4回発行し地域に配布するや地域のミニデイに参加、ゴミステーションの掃除、ふれあい作品展に出品、見に行く、祭り見学、散歩時に挨拶を交わす等地域に積極的に出向き交流を図っている。また、地域の方に事業所のイベントに参加してもらっている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念は開設時に地域とのかかわりを意識して「住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活楽しむことができるよう支援します」と事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、職員会議や日々のケアを振り返る時等で意識しながら話し合い、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム便りを年4回発行し地域に配布や地域のミニデイに参加、ごみステーションの掃除、ふれあい作品展に出品、見に行く、祭り見学、散歩時に挨拶を交わす等地域に積極的に出向き交流を図っている。また、地域の方に呼びかけ事業所のイベントに参加してもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全職員で自己評価に取り組んでいる。前回の評価に基づき玄関の鍵について、運営推進会議で話し合い施錠することになっている。水分量のチェックや時計の位置は改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されており、事業所から利用者の状況、サービスの実施報告等を行い参加者から情報や質問、意見、要望を受け話し合っている。会議での意見等はサービス向上に活かしている。健康長寿食についての講話や災害対策時の協力依頼などしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当窓口に出かけ、日々の業務上での疑問や書類のことなどで相談をしたり、意見交換等をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りを年4回発行、来訪時に日頃の暮らしぶりを報告している。また状態の変化に応じて随時報告をしている。金銭管理についても定期的に報告がなされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加をしてもらい意見や要望等を聴くように努めている。家族等の訪問時には話しやすい雰囲気づくりに留意している。意見箱を設置しており、意見、苦情等は運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へのダメージを防ぐために職員の異動は最小限にするようにしており、新入職者の場合は職員が行動を共にし利用者の戸惑いがないように留意し馴染みの関係が築けるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内、外部研修は職員の経験に応じ受講するようにしている。研修後は職員会議で報告し意見交換を行い全職員で共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入し研修会や会議等で交流を図っている。交換研修を行い相互で意見交換をしサービスの質の向上に努めている。系列の事業所でイベントがある時は利用者や職員は参加し交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学をしてもらい利用者、職員とお茶の時間を共に過ごし雰囲気を覚えてもらう、デイサービスを利用し馴染みになってから入居をしてもらう等を家族と相談しながら環境に馴染めるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員は共有しており、日常の生活場面で雛祭りの謂れや伊勢崎市の歴史、地域のこと、手打ちうどん作り、行事食などを教えてもらうことが多くあり、共に過ごし支えあう関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で本人との会話や表情、行動等から思いや意向の把握に努めさりげなく意思確認をし、情報を職員間で共有しながら日々のケアに活かしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意向や要望を聴き、反映をさせるようにしている。事業所の関係者の意見を含めて、職員の情報や気づきをカンファレンスで話し合っ介護計画に反映させ作成をしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的見直し(3ヶ月)と状態の変化に応じて随時の見直しをしている。また、介護計画の遂行状況を月1回はモニタリングを行い本人、家族の意向を確認しながら現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	受診介助、送迎等を本人や家族の状況に応じて柔軟に対応している。近隣の高齢者が状況に応じてデイサービスの利用ができるように、グループホームの多機能性を強化している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、本人や家族の希望するかかりつけ医となっており、受診や通院は希望に応じて柔軟に対応している。協力医療機関、訪問看護師との24時間対応の連携が図られている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化対応、終末期ケアの対応指針については入居時に説明しており、状態の変化に応じてその都度、家族、医師、訪問看護師、事業所で話し合いを行い本人、家族の思いに添って支援をするという方針で共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に配慮している。個人情報の取り扱いに関しては、秘密保持の徹底には留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの体調に配慮しながら本人の気持ちを尊重し、散歩、買い物、ドライブ等、できるだけ利用者の希望に添うようにしている。日々を一人ひとりのペースで過ごせるように支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ、盛り付け、テーブルを拭く等も利用者と共にやっている。利用者と職員が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができるように支援をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のその日の希望やタイミングに合わせて、利用者一人ひとりに気持ちよく入っていただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や調理の下ごしらえ、盛り付け、お茶を入れる、片付け、草むしり、花の手入れ等の得意分野で利用者一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いやさり気なくセッティングを行ってもらい感謝の言葉を伝えるようにしている。趣味、買い物、ドライブ、地域の行事参加等の楽しみごとを利用者と相談しながらやっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物、ドライブ、玄関前で過ごす等の戸外で過ごし、外気に触れ季節を感じてもらおうようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関に鍵をかけている。	○	運営推進会議でも鍵について話し合われ、鍵をかけることが要望され施錠している。職員の見守りの方法、利用者一人ひとりのその日の気分や状態に応じて、安全面に配慮し短時間から、日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援する方向で取り組んでほしい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て、利用者と職員は年2回避難訓練を行なっている。地域の方に協力依頼もしてある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事・水分量を職員は把握しているが、食事・水分量の少ない利用者についてのみ水分チェック表に記録している。利用者全員の記録はしていない。	○	利用者一人ひとりが一日全体を通し食事量、バランス、水分量がどの程度摂れているか、日々の記録を行い情報を共有するようにしてほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングのテーブルには季節の花が飾られ、出窓に観葉植物、花が置かれ、雛飾り、ピアノ、ソファ等が設置されており、生活感や季節感も採り入れ居心地よく過ごせるようになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	箆笥、お気に入りの人形、キューピー、衣装箱、籐の椅子、位牌、絨毯等の馴染みの物を持ち込み落ち着いた居心地のよさに配慮している。		